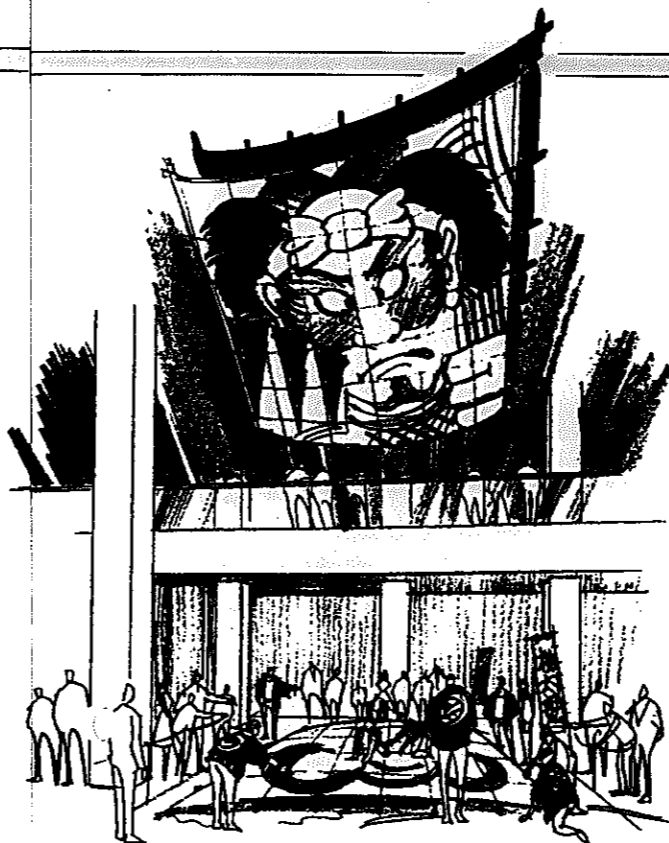


# (仮称)白根ふるさと村 基本計画まとまる

ふるさと創生事業で建設が予定されている(仮称)白根ふるさと村。このほど、その全体基本計画がまとまりました。この計画は専門的な視野から本市の観光を核とした地域づくりを行うため、専門家に策定を依頼したもの。9月6日には建設計画検討委員会がこの計画に対して答申。その意見を参考にしながら、さらに内部で検討し、実施計画を作る予定です。



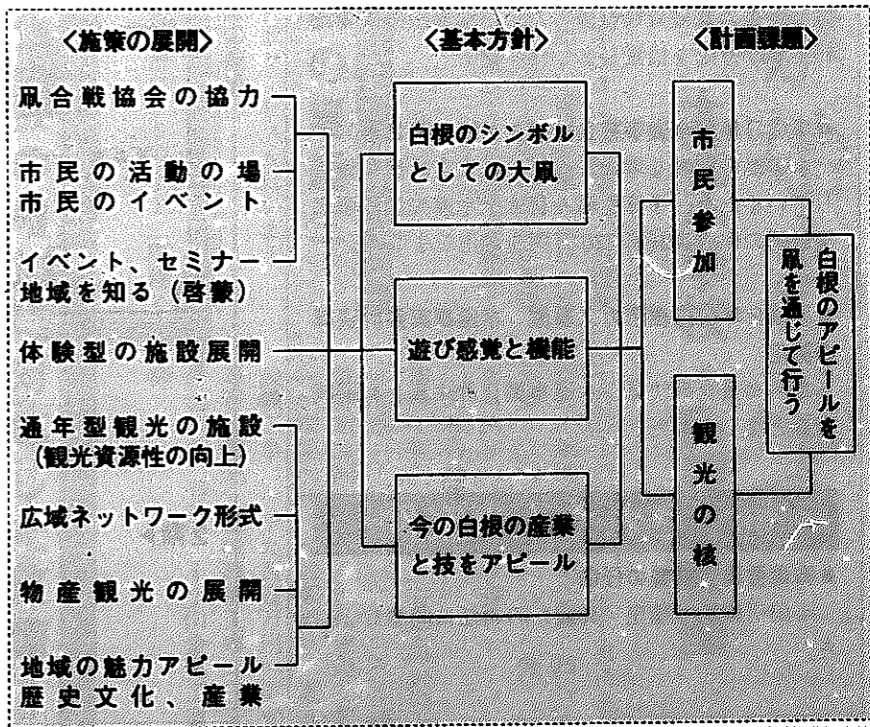
## テーマは 凧、遊、技

(仮称)白根ふるさと村全体基本計画では、この施設のテーマを「凧の魅力をを通じて白根市のアピールを市の内外に行える施設とすること」としています。その重要な側面として「観光的性格」と、市民の利用を前提とした「公共的性格」を挙げています。本市の観光の核になるとともに、市民参加ができる地域のコミュニティ施設ともなるわけです。

さらにその基本方針として、計画では三つのテーマを掲げています。その一つは郷土の誇り、市民の心のシンボルである大凧と大凧合戦です。二つ目は凧の遊具としての性格、遊びの感覚と機能。三つ目は凧を通じ、現在の本市の文化や産業、技、物産などのアピールです。

## 広域観光の ネットワークを

最近の県内の観光情勢は、日本海と夕日キャンペーン、弥彦・寺泊、瓢湖・月岡・五頭、阿賀野川ラインなどが大きく観光客を伸ばしていますが、本市は通過地点に過ぎず、観光的な流れからは取り残されています。



しかし、本市は新潟市の市街地から二十分程度と近く、観光的には周辺も含むと百万人に近い市場を持つといえます。さらに市周辺部には「新潟ふるさと村」や、笹川邸(味方村)、石油の里(新津市)、湯田上温泉などがあります。市内の観光果樹園などと併せてこの計画を結び付けられ、大いに市の活性化につながると思えます。計画ではまた、白根絞りなどの

## ふるさと建設計画検討委員会 基本計画について答申

白根ふるさと村建設計画検討委員会(猪股武雄会長ほか委員七人)は九月六日、三回目の委員会を開き、(仮称)白根ふるさと村建設計画案についての検討結果を答申しました。答申を受けた滝沢市長は「答申に盛り込まれた意見を尊重しながら内部でさらに検討を加え、一日も早く実施計画を作るよう努力したい」と回答。委員の労をねぎらっていました。

視察するなど、本市の個性と特色を生かした施設を目指し、施設の基本計画や名称などについて検討を重ねてきました。答申の要旨は次のとおり。

① 答申要旨

1、基本計画に示されている全体基本計画案に示されている「シンボルとしての大凧」、「遊び感覚と機能」、「今の白根の産業と技」という三つの柱からなる大きなテーマ「凧の魅力をを通じて白根市のアピールを市の内外に行える施設」とした内容は、計画の目的からおおむね適当である。しかし、この施設を市の観光・産業・地域文化

の拠点として推進するには、住民、行政・企業等の協力体制が必要であり、市民参加により市民に親しまれる施設となることから、本委員会での次の意見を考慮しながら、施設の運営・管理に意を用い、活性化につながる施設とされるよう要望する。

② 敷地について

計画地は建設計画に大きく影響する問題であることから、早急に決定し、計画の推進を図ること。また、できるだけ敷地規模の確保に努力してほしい。

③ 民俗資料館について

計画では展示スペースと収蔵庫がかなり狭いと思われる。現在の資料が極力収蔵できるよう、配慮されたい。

④ 施設の名称に関すること

名称については市民の理解が得られることはもちろん、マスコミへの対応、イベント企画等の面からも、その魅力を効果的に表すネーミングが必要であり、広く市民から募るのも一つの方法である。

## (仮)白根ふるさと村 全体構成概念図

